令和５（2023）年度「いいじゃんスポーツチャレンジ inみよし」実施要項

１　実施内容

市内小中学校の学級を単位として、同学年間における「８の字跳び」の通信制大会を実施する。

２　目的

仲間とともに記録にチャレンジすることを通して、運動する楽しさや喜びを味わい、運動に親しむ態度を養うとともに運動意欲の向上を図る。

３　実施期間（チャレンジ期間）

小学校：令和５（2023）年５月から令和６（2024）年２月末まで

中学校：令和５（2023）年５月から令和６（2024）年１月末まで

４　参加対象

市内小中学校の参加を希望する学級（チーム）

※　学級全員での参加を原則とする。やむを得ず、半数の人数で行った場合は、2チームの平均値をとる。（小数点以下は、切り捨てとする）

５　実施方法

（1）「８の字跳び」において、３分間で合計何回跳べたかについて、市内小中学校の学級（チーム）で競い合う。

（2）教職員が見ているところでの記録のみ公式記録とする（運動会や体育大会、児童会や生徒会主催のイベント、又はその練習中の記録も可）。

（3）記録は、「８の字跳び記録報告書」に記入し、教職員が市教育委員会へファクシミリやC４ｔｈで報告する。

（4）チャレンジ期間中であれば、何度チャレンジしてもよい。また、記録を更新した場合は、何度報告してもよい。

（5）市教育委員会に報告された記録のうち、上位５チームは、市ＨＰに掲載する。

（6）学年ごとの部門とし、優秀な成績を収めた学級（チーム）を市教育委員会から表彰する。（各学年上位５チーム）

（7）実施する場所については、特に限定しない。運動場や体育館など、安全に行える場所を選んで実施する。

６　「８の字跳び」のルール

（1）縄を１回まわすごとに一人ずつ跳んで抜け、３分間で合計何回跳べたかを数える。

※ただし、上手に跳べない子が跳べたと実感できるようにするために 2 人で一緒に跳ぶなどの配慮をしてもよい。（その場合の回数は１回とする。）

（2）失敗した時の数は、回数に含めない。

【例】　・・・・９、１０、１１と数え、１１のところで失敗してしまったら、再開するときは、１１、１２、１３、１４・・・・と数える。

（3）縄の材質や長さは自由とする。

（4）ターナー（回し手）は、学級（チーム）の児童生徒から選出する。ただし、小学校低学年（1年生～3年生まで）はターナー（回し手）を教職員や上級生が行ってもよい。

（5）スタートの合図で跳び始める。（スタート前に縄は回しておいてもよい。）

７　その他

（1）体育科や保健体育科における「体つくり運動の運動遊び」「体つくり運動」との関連で実施することも可能であるが、体育科・保健体育科の学習は指導計画通りに実施する。

（2）イメージキャラクターとして、みよし市健康づくり大使「キューちゃん」を使用する。